
「手術が行われた患者の CT における鼻腔面積の再検討から算出した鼻中隔前弯と鼻中隔弯曲症の鑑別を目的とした客観的指標の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022 年 4 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の期間に埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科を受診し、鼻中隔弯曲症と診断され、鼻中隔矯正術を受けられた 18 歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

鼻中隔矯正術は曲がった鼻中隔を切除することで矯正し鼻の中を広げる手術です。多くは成功しますが、鼻中隔弯曲症前弯と言われる前方部分の曲がりがあると手術成績がやや落ちます。鼻中隔弯曲症前弯と診断されずに手術に臨み、失敗してしまうケースもあります。現在までに鼻中隔弯曲症前弯の具体的な診断基準は策定されていません。本研究では CT で左右の鼻の面積比を計算することで鼻中隔弯曲症前弯の診断方法を作成することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2024 年 12 月 20 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの情報として、鼻副鼻腔 CT 画像、外傷歴（怪我の有無）受けられた手術術式を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科において、研究責任者である細川悠が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

鼻中隔弯曲症と診断された患者さんの電子カルテデータベースから情報を抽出します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 講師 細川 悠

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 講師 細川 悠

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

Tel : 049-276-1253

Fax : 049-295-8061

E-mail : hosokawa.yu@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：手術が行われた患者の CT における鼻腔面積の再検討から算出した鼻中隔前弯と鼻中隔弯曲症の鑑別を目的とした客観的指標の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 講師 細川 悠